

## 臨床研究課題名: 肺高血圧症に対する症例登録研究(Japan PH Registry)

承認番号 1194

### 1. 研究の対象

2010年4月以降に「肺高血圧症に対する症例登録研究(Japan PH Registry)」に参加された方

### 2. 内容

当施設では倫理審査委員会の審査を受けて病院長の許可を受けている「肺高血圧症に対する症例登録研究(Japan PH Registry)」を実施しております。

このたび、さらなる病態解明や治療法の確立のため、皆様の臨床情報を「肺高血圧症患者レジストリ(Japan Pulmonary Hypertension Registry)」で活用させていただくことになりました。

対象者に該当する可能性のある方またはその代理人で、臨床情報を「肺高血圧症患者レジストリ(Japan Pulmonary Hypertension Registry)」で活用することを希望しない場合や本研究にご参加いただいた方で本研究に関する資料の閲覧をご希望の場合は、下記の連絡先にお問合せください。

千葉大学医学部附属病院 呼吸器内科 重田文子

連絡先: 平日(月～金) 9:00～17:00 TEL(043)222-7171(内線 5471)

### 【肺高血圧症患者レジストリ(Japan Pulmonary Hypertension Registry)について】

研究の名称	肺高血圧症患者レジストリ (Japan Pulmonary Hypertension Registry)
研究代表者	国際医療福祉大学 田村 雄一
当院の研究責任者	千葉大学医学部附属病院 呼吸器内科 巽 浩一郎
研究期間	2019年4月～永年
研究の目的	全国の肺高血圧症患者における臨床情報のデータベースを構築し、縦断的・持続的に観察研究を行い評価項目を検討することで、肺高血圧症の自然歴や予後因子を解明し、将来的に肺高血圧症の治療法の開発や確立に貢献する。
情報の二次利用について	難病プラットフォームなどの二次利用機関に活用させていただきます。
情報の管理責任者	国際医療福祉大学三田病院 古川明日香
共同研究機関	国際医療福祉大学 九州大学病院 筑波大学附属病院 東邦大学医療センター大橋病院

	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科循環器内科学 琉球大学医学部附属病院 岩手医科大学 杏林大学医学部附属病院 国立病院機構近畿中央呼吸器センター 国立循環器病研究センター病院 大阪大学大学院医学系研究科 北海道大学病院 東邦大学医療センター大森病院 三重大学医学部附属病院 神奈川県立呼吸器循環器病センター 金沢医科大学病院 新潟大学大学院医歯学総合研究科 高知大学医学部附属病院 富山大学附属病院循環器センター 京都大学医学部附属病院 信州大学医学部附属病院 日本医科大学大学院医学研究科 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 日本赤十字社長野赤十字病院 日本医科大学附属病院 順天堂大学医学部附属順天堂医院 名古屋大学医学部附属病院 公立陶生病院 大阪大学医学部附属病院 東海大学医学部附属八王子病院 徳島大学病院 杏林大学医学部附属病院 JCHO 東京新宿メディカルセンター 福岡大学病院西新病院 昭和大学病院 横浜市立大学附属病院 東北大学病院 大阪市立総合医療センター 東京女子医科大学 JA 北海道厚生連帯広厚生病院
--	--

福島県立医科大学附属病院  
NTT 西日本 東海病院  
弘前大学医学部附属病院  
千葉大学大学院医学研究院  
国際医療福祉大学三田病院  
熊本大学大学院生命科学研究部  
北海道大学病院  
三重大学医学部附属病院  
呉共済病院  
獨協医科大学病院  
順天堂大学医学部附属順天堂医院  
金沢市立病院  
京都府立医科大学附属病院  
埼玉医科大学国際医療センター  
岡山大学大学病院  
神鋼記念病院  
神戸大学大学院医学研究院  
近畿大学医学部  
札幌医科大学  
旭川医科大学病院  
東京大学医学部附属病院  
東海大学医学部  
信州大学  
京都大学大学院医学研究科  
神戸大学大学院医学研究院  
国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院  
慶應義塾大学病院  
久留米大学医学部  
福岡大学医学部  
東邦大学医療センター佐倉病院  
国立病院機構岡山医療センター  
国立病院機構東京病院  
東京大学医学部附属病院  
東京医科大学病院  
JR 東京総合病院  
熊本大学医学部附属病院

	東海大学医学部附属病院 奈良県立医科大学 浜松医科大学医学部附属病院 秋田大学医学部附属病院
--	---

### 【難病プラットフォームの研究】

研究の名称	難病レジストリの網羅的情報基盤構築によるデータの統合と活用促進に関する研究
研究の目的	様々な希少難治性疾患のデータを横断的に統合することで、類似疾患との比較検討を可能にして、将来的に病態解明及び新規治療法の開発を推進する。
研究代表者	京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター 松田文彦
研究期間	2018年4月～
利用する情報の項目	臨床情報
ホームページ	<a href="https://www.raddarj.org/">https://www.raddarj.org/</a>

### 【肺高血圧症に対する症例登録研究(Japan PH Registry)について】

研究の名称	肺高血圧症に対する症例登録研究(Japan PH Registry)
研究代表者	国際医療福祉大学 田村 雄一
当院の研究責任者	千葉大学医学部附属病院 呼吸器内科 巽 浩一郎
研究期間	2016年9月～
「肺高血圧症の治療法を比較検討する多施設共同症例登録研」から「肺高血圧症患者レジストリ」に活用する内容	出生年、性別、妊娠の有無、肺高血圧症診断日、NYHA分類、病因、6分間歩行距離および実施時のボルグ呼吸困難指数、EQ 5D-VASスケール、emPHasis-10、血行動態測定値、心電図、血液検査、肺高血圧症に特異的な治療の開始・変更(エンドセリン受容体拮抗薬、PDE-5阻害薬、sGC刺激薬、プロスタサイクリン、その他の肺高血圧症特異的治療薬)、経口抗凝固療法、抗がん剤、臨床事象など
「肺高血圧症患者レジストリ」で試料・情報を活用する目的・方法	<p>【目的】</p> <p>「肺高血圧症の治療法を比較検討する多施設共同症例登録研究」で収集したデータを「肺高血圧症患者レジストリ」で活用することでより研究の質をより高める。</p> <p>【方法】</p> <p>「肺高血圧症の治療法を比較検討する多施設共同症例登録研究」で個人が特定できないように匿名化した上で収集した情報がデータベースに集積されている。そのデータを継続して活用する。</p>

<p>難病プラットフォームに 試料・情報を共有・提 供する目的・方法</p>	<p>【目的】 「肺高血圧症の治療法を比較検討する多施設共同症例登録研究」で 収集したデータを他の希少難治性疾患のデータと統合することで、将 来的に病態解明及び新規治療法の開発を推進する。</p> <p>【方法】 「肺高血圧症の治療法を比較検討する多施設共同症例登録研究」で 個人が特定できないように匿名化した上で収集した情報がデータベ ースに集積されている。そのデータを活用する。</p>
<p>試料・情報の 管理責任者</p>	<p>国際医療福祉大学三田病院 古川明日香</p>
<p>共同研究機関</p>	<p>国際医療福祉大学 北海道大学大学院医学研究科 札幌医科大学 東北大学大学院医学系研究科 千葉大学大学院医学研究院 東京大学 日本医科大学 杏林大学 東京女子医科大学 横浜市立大学附属病 信州大学医学部附属病院 浜松医科大学 NTT 西日本 東海病 三重大学病 京都大学 国立循環器病研究センター 奈良県立医科大学大学院医学研究科 神戸薬科大学 独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター 呉共済病院 九州大学病院 久留米大学医学部 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科</p>